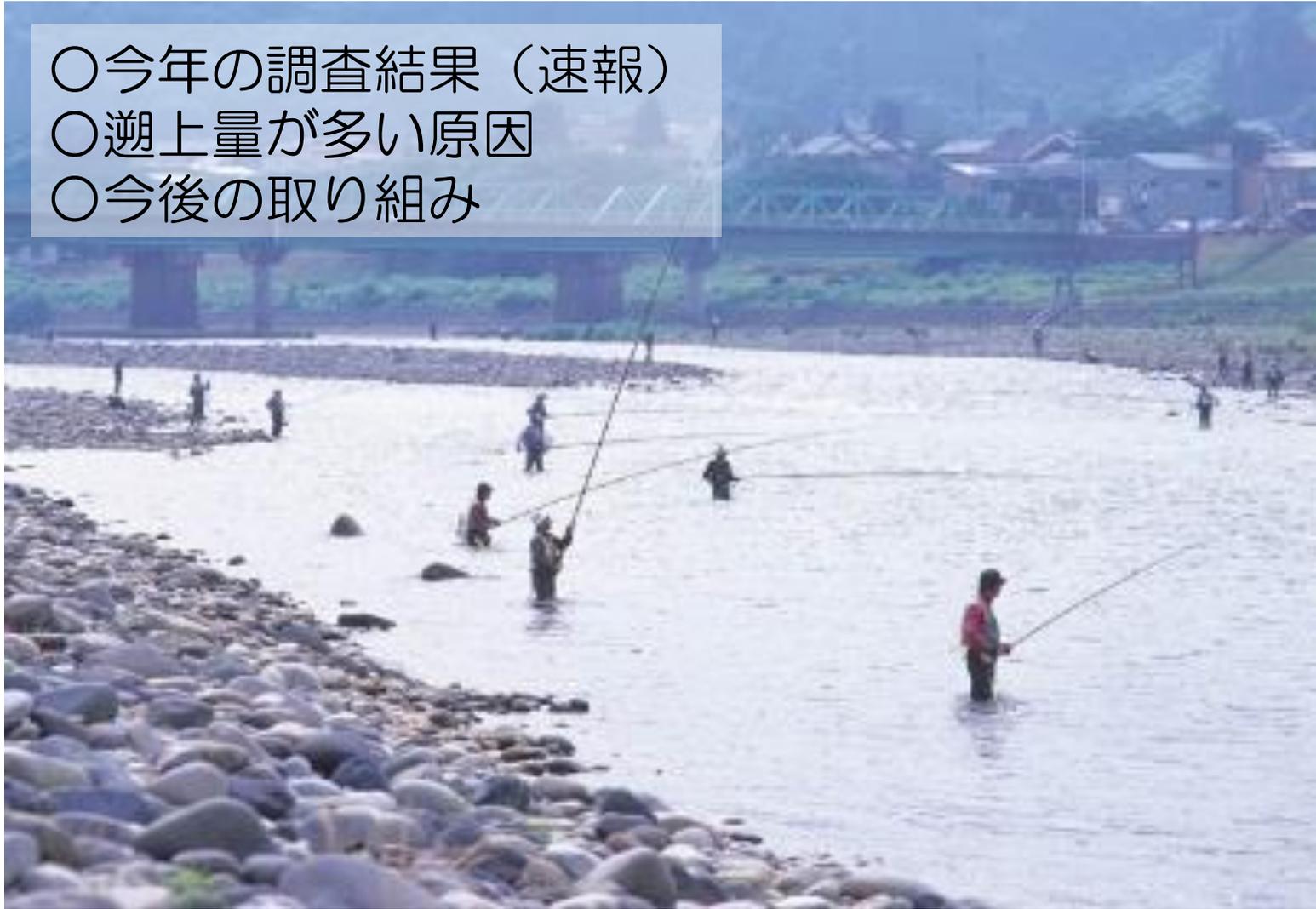


令和3年 アユ遡上状況について

- 今年の調査結果（速報）
- 遡上量が多い原因
- 今後の取り組み



遡上稚魚調査（九頭竜川）

場所：九頭竜川河口左岸

期間：3月下旬～6月上旬

漁具：小型定置網（袋網）

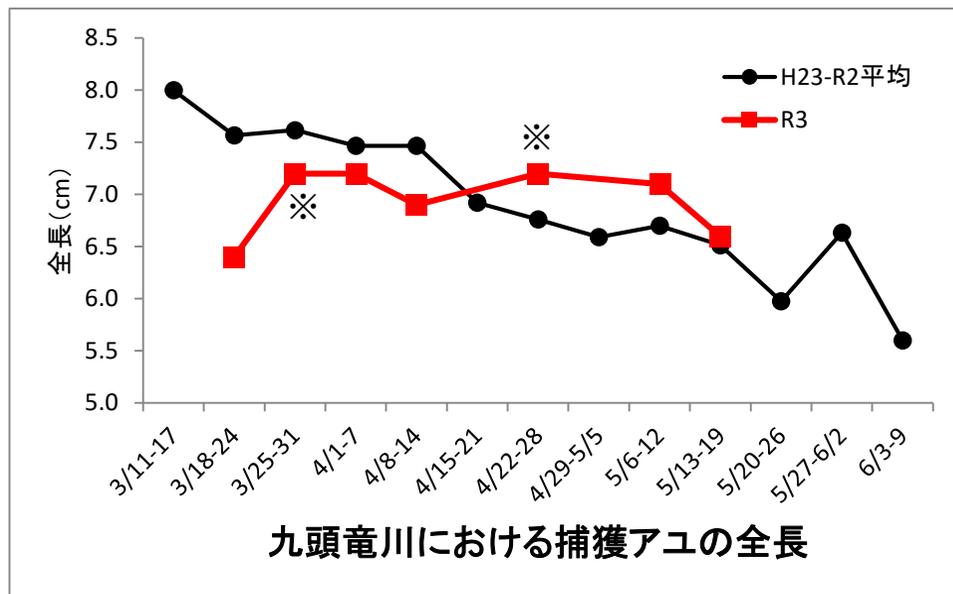
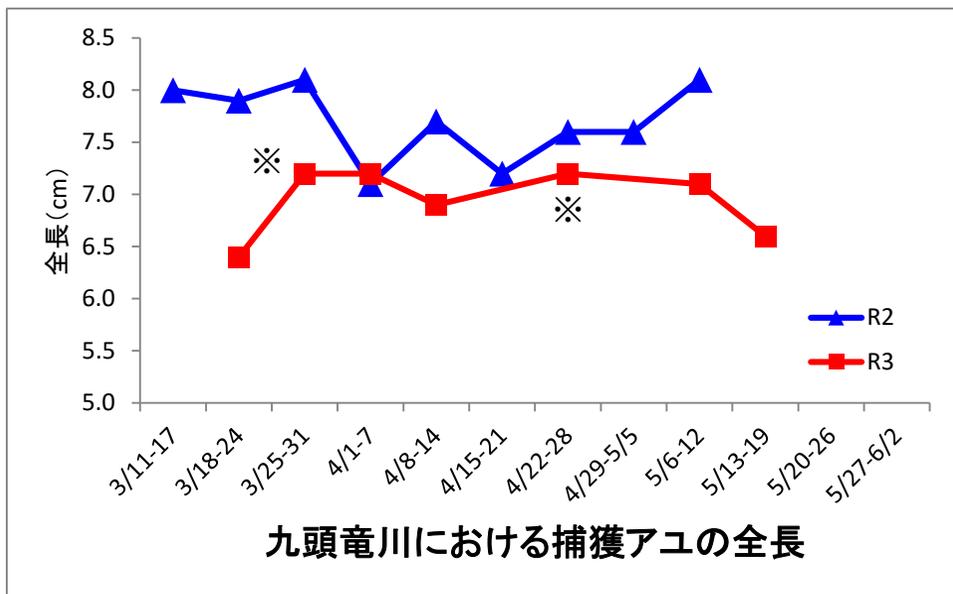
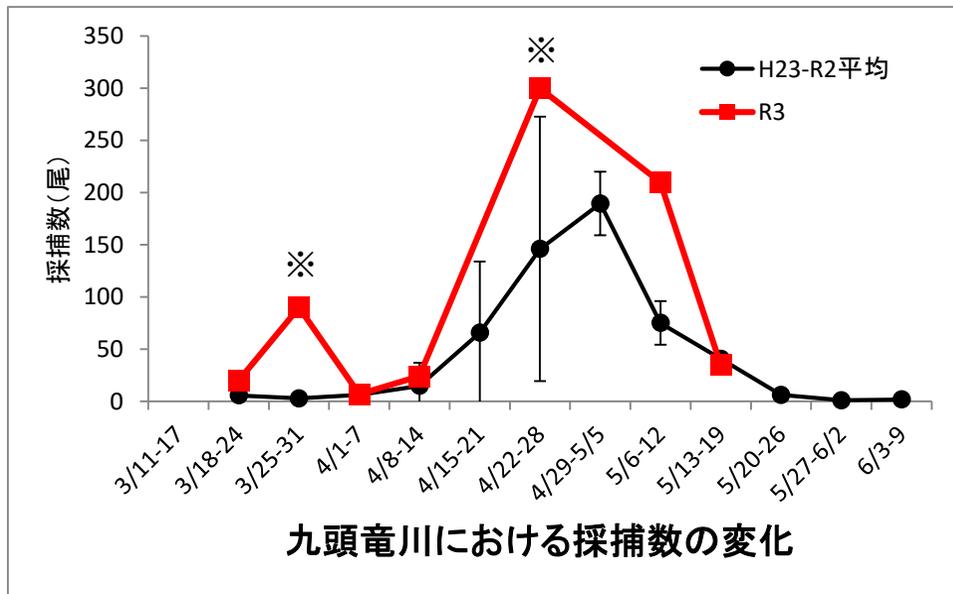
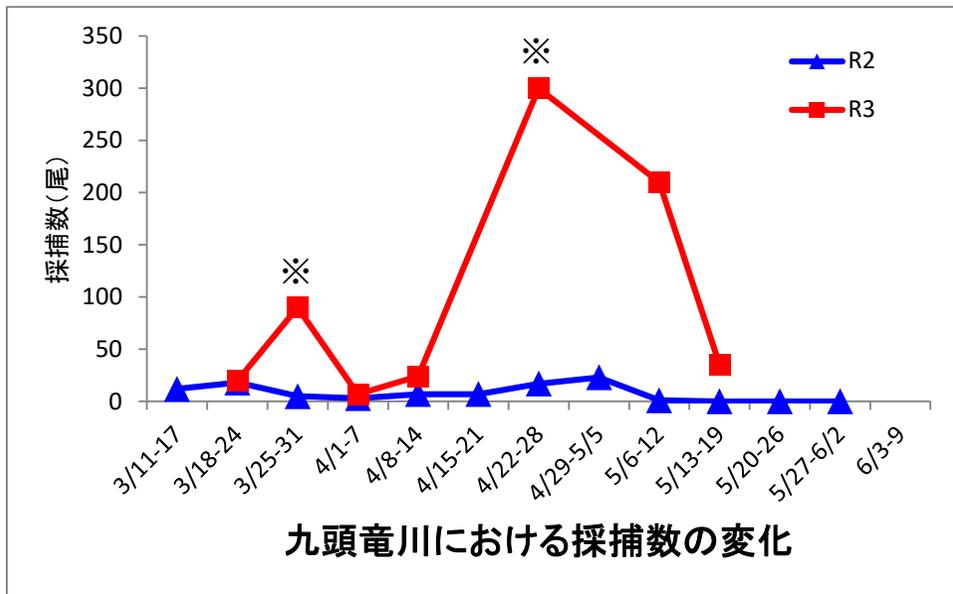


調査風景



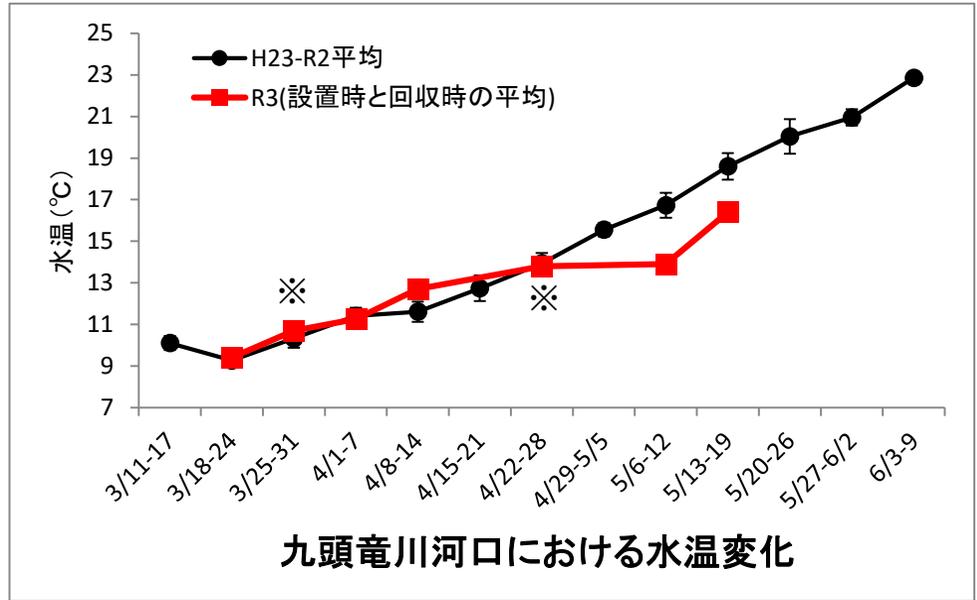
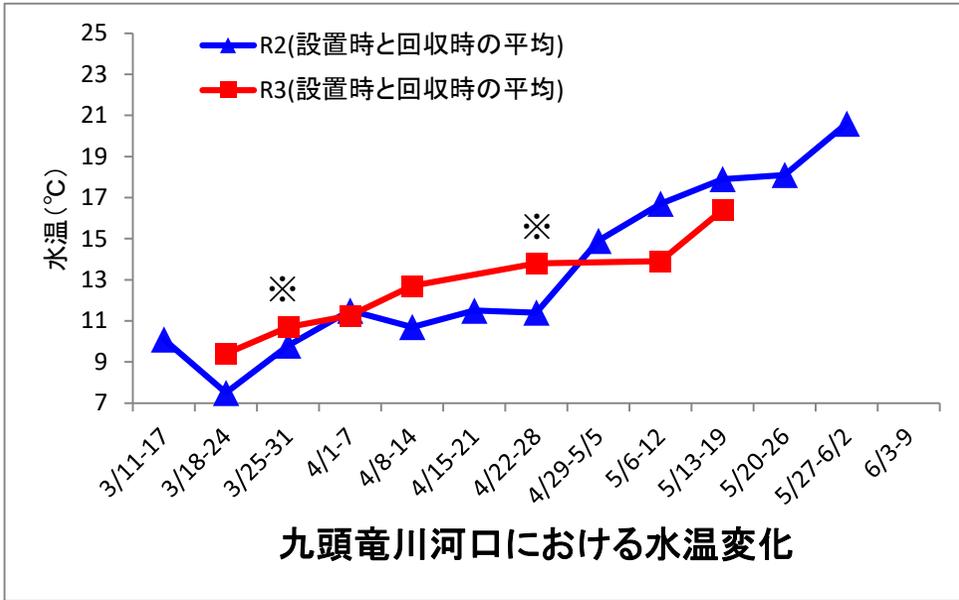
今年は遡上量が多い！！

(5/13調査終了時点までのデータ)



※2回の調査の平均

(5/13調査終了時点までのデータ)

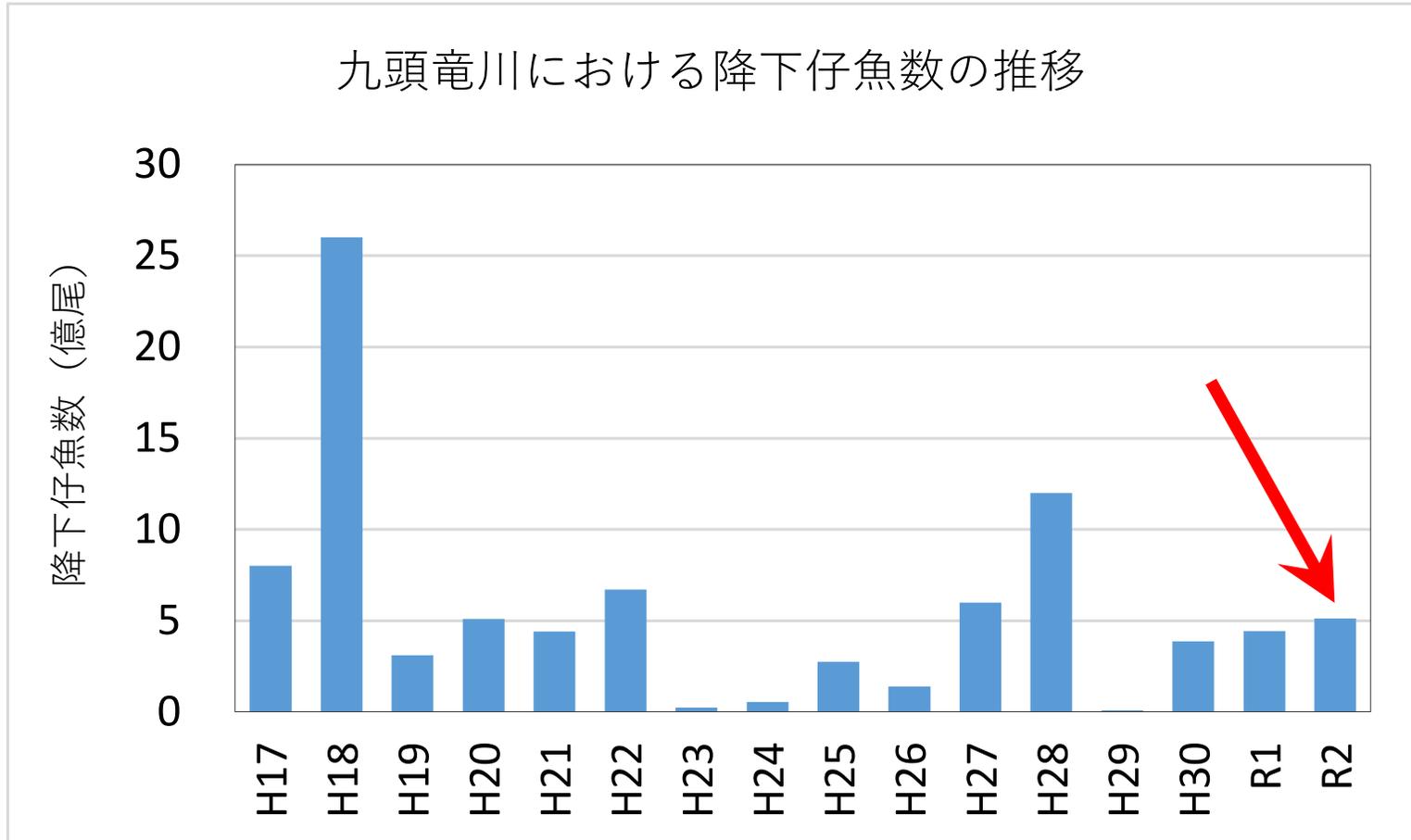


※2回の調査の平均

- 遡上量は前年、平年ともに上回る
- 魚体サイズは前年より小さい
- 水温は、前半は高め、後半は低めで推移

遡上量が多い原因は??

特定は難しいですが、不漁の年と今年との違いを探してみました①

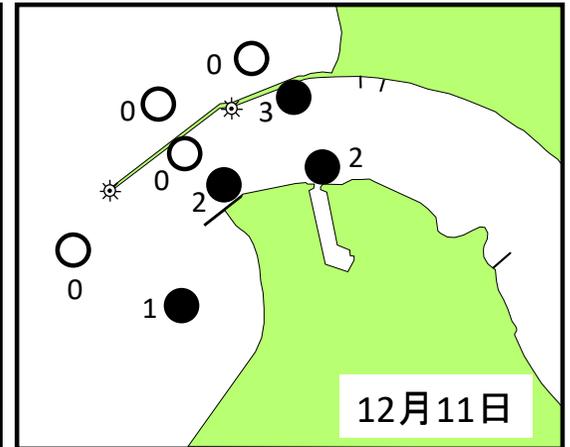
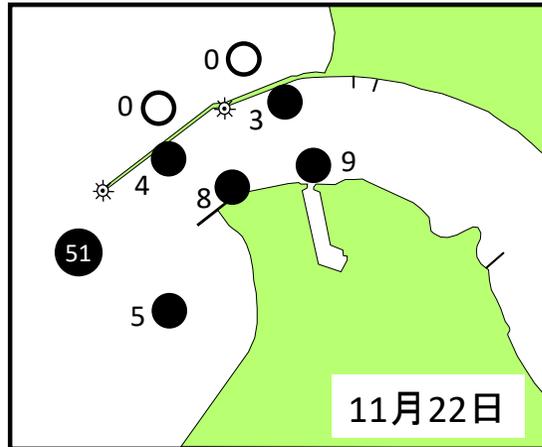
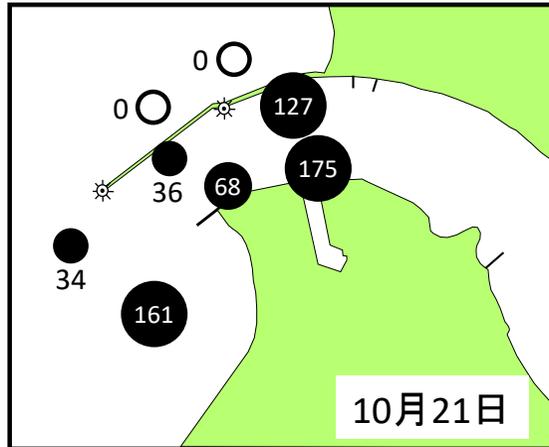


→ 降下仔魚がやや増加傾向

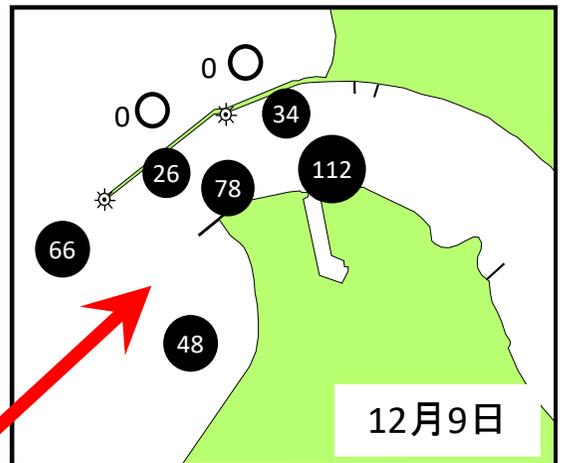
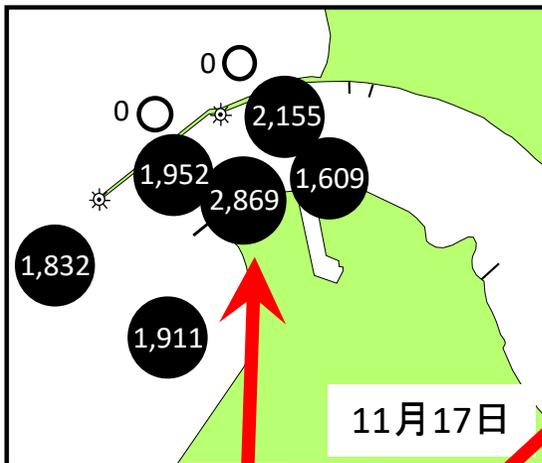
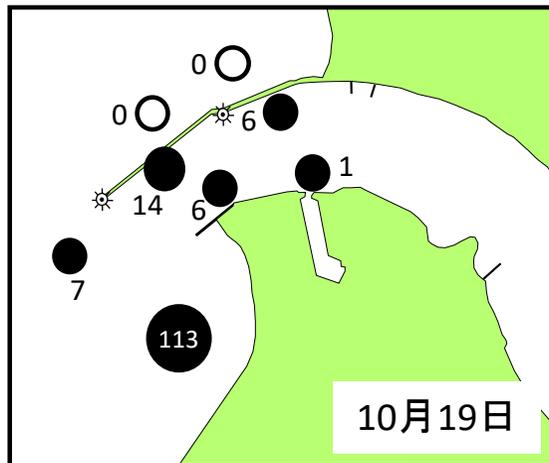
遡上量が多い原因は??

特定は難しいですが、不漁の年と今年との違いを探してみました②

R1年



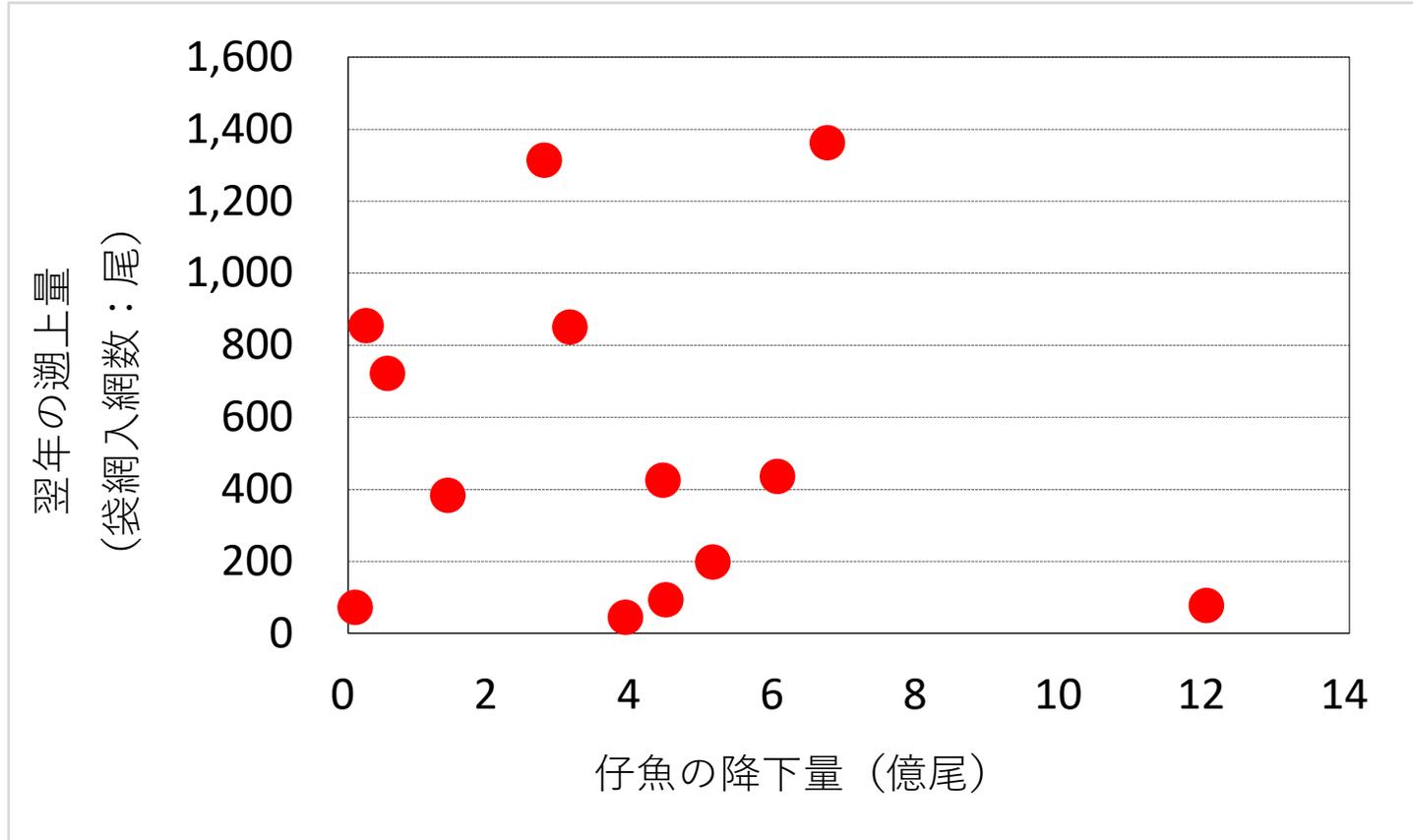
R2年



降下仔魚の河口・海域調査結果

→ 河口域での生き残りが多い

ちなみに・・・

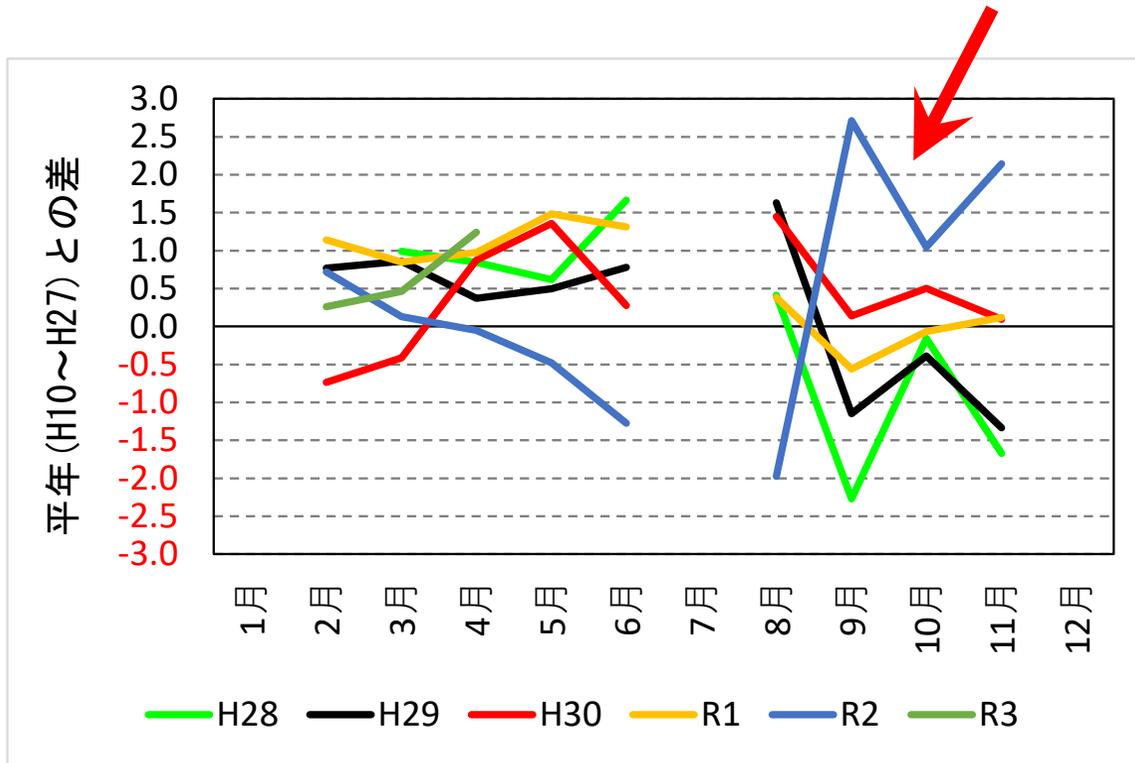


降下仔魚の量と、翌年の遡上量には相関がない

→ しかし、海で稚魚が湧くわけではないので、一定規模の降下量を確保することは重要

遡上量が多い原因は??

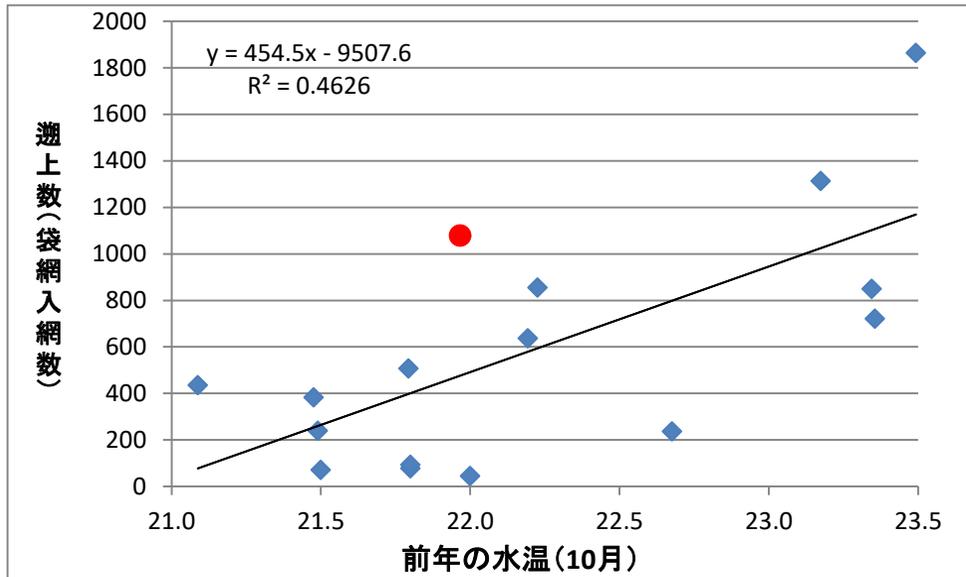
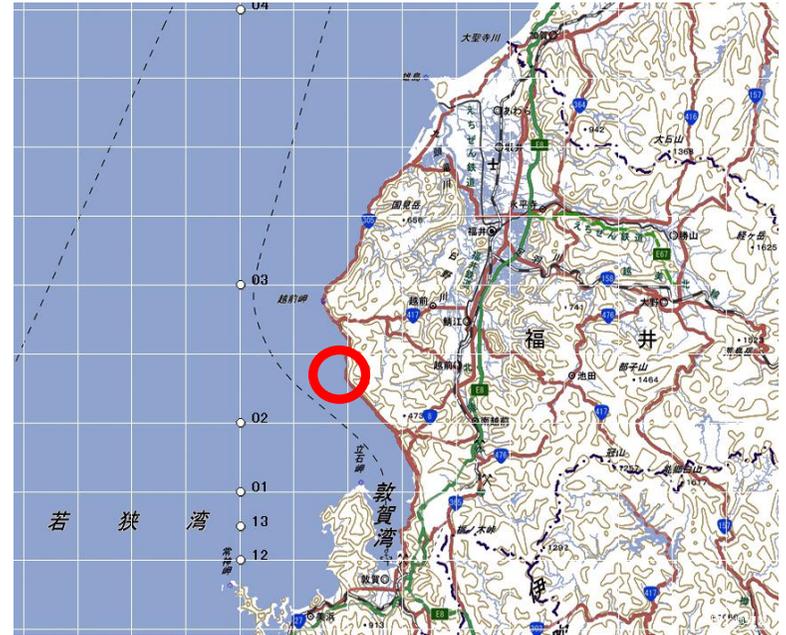
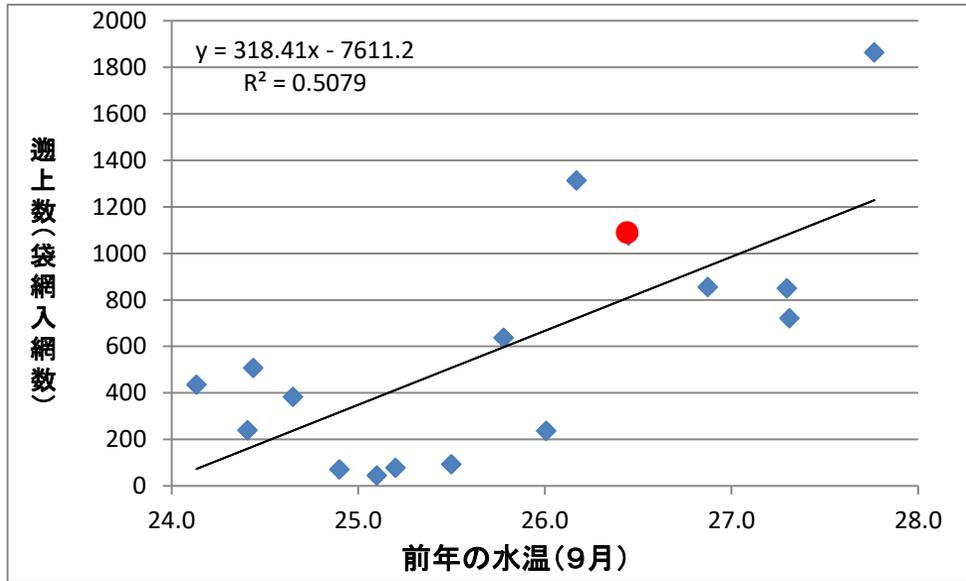
特定は難しいですが、不漁の年と今年との違いを探してみました③



→ 降下時期の海水温が高い



ちなみに・・・

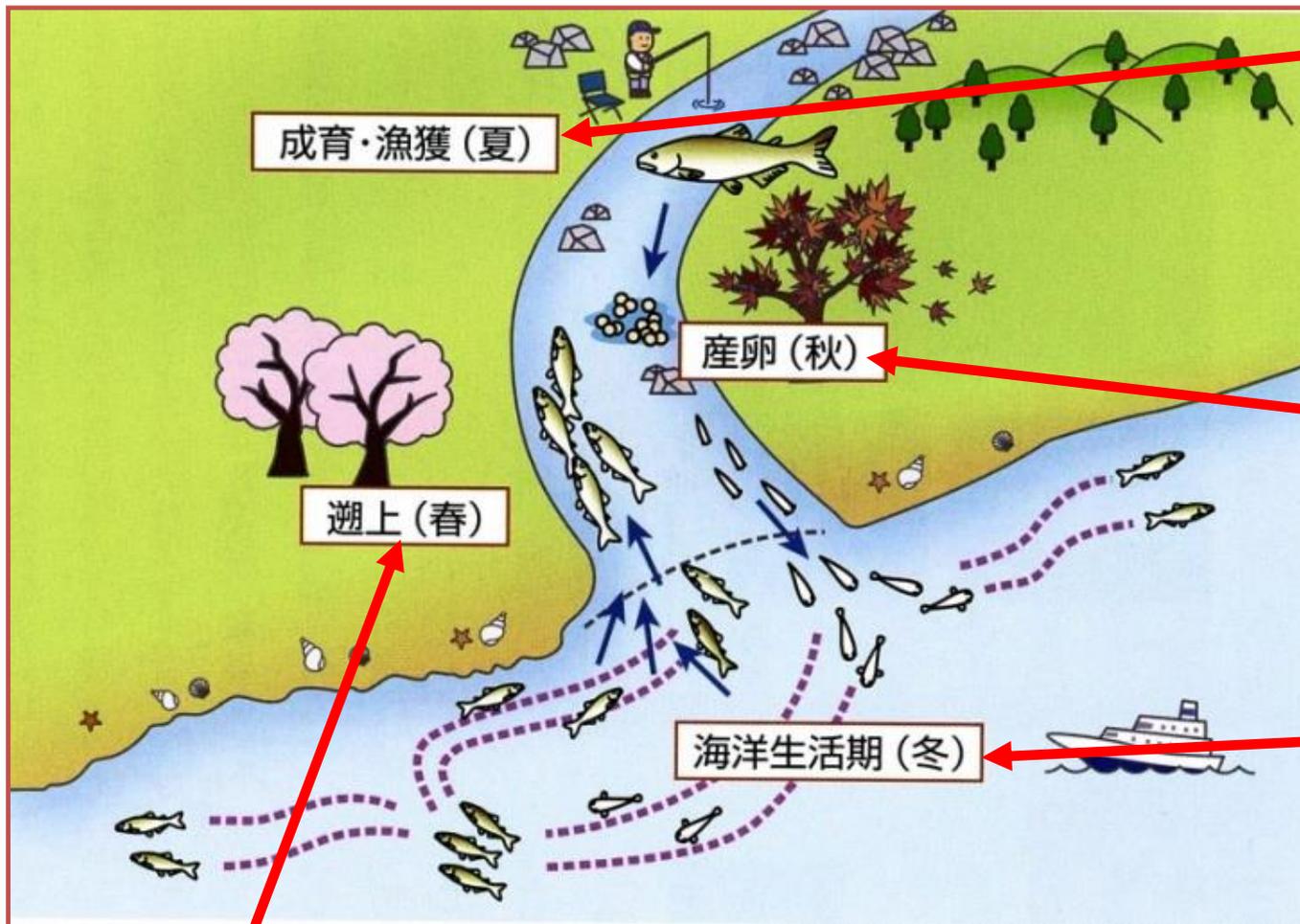


9～10月の沿岸水温が高いと、翌年の遡上量が多い傾向がある

→ 昨年の秋(9月)の水温が高かった

● : 5/13調査終了時点までのデータ

まとめ：今期の調査結果を踏まえ、遡上量（資源量）を増やすためには
…→ 遊漁者増による漁協経営安定のためには



- 成育に適した餌環境
 - 天然遡上魚に影響のない放流方法
 - 誘客促進
- など

- 再生産に寄与する海産系種苗の放流
 - 産卵親魚の確保（産卵場の造成）
- など

- 生存に適した水温環境
 - 豊富な餌環境
- など

- 遡上に適した水温
 - 遡上しやすい魚道
- など

●人間の力で「できること」と「できないこと」を見極め、「できること」を継続する！！！！

御清聴ありがとうございました。



勝山鮎（勝山市HPより）

祈！！ アユ豊漁